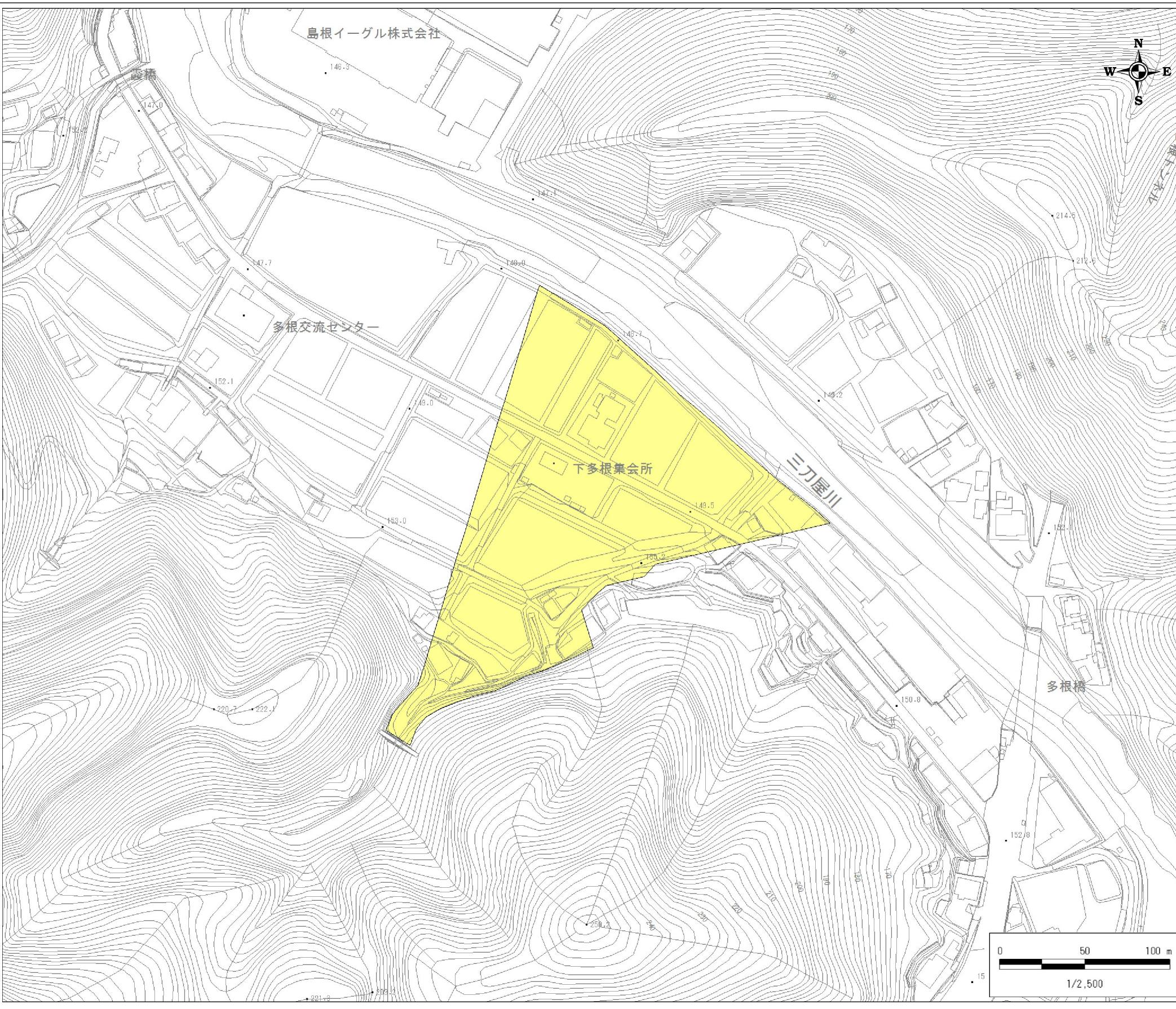


## 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 地図

縮尺: 1/2,500



|         |                  |
|---------|------------------|
| 自然現象の種類 | 土石流              |
| 基礎調査番号  | 132383A660423012 |
| 箇所名     | 下仏田              |
| 所在地     | 雲南市掛合町多根         |

位 置 図<sup>\*</sup> 縮尺:1/50,000



※この地図は、国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用したものである。

区域図凡例

### 土石等の力の大きさの表示

|      |     |     |      |     |     |
|------|-----|-----|------|-----|-----|
| 区分番号 | (A) | (B) | 区分番号 | (A) | (B) |
|------|-----|-----|------|-----|-----|

**力の区分表記の説明**  
(A) 土石流により建築物に作用すると想定される力のうち最大のもの (kN/m<sup>2</sup>)  
(B) (A)が当該建築物に作用する場合の土石流の高さ (m)

告示履歴

|       |  |
|-------|--|
| 告示年月日 |  |
| 告示番号  |  |
| 告示年月日 |  |
| 告示番号  |  |

※「土石等の力の大きさの表示」欄で表示される数値は、実数値（計算値）を小数第二位で四捨五入したものです。そのため、凡例で区分している数値の境界値付近では、凡例の説明と表示数値が一致しない場合があります。

そのため、凡例で区分している数値の境界値付近では、凡例の説明と表示数値が一致しない場合があります。

例1) 土石流の高さの計算値が 1.01m の場合、四捨五入により 1.0m と表示されますが、実際は 1m を超えているため、「土石流の高さが 1m を超える区域」に該当します。

例2) 「土石流の高さが1mを超える区域」のうち、建築物に作用すると予想される力の計算値が50.01 kN/mの場合、四捨五入により50.0と表示されますか?

実際は50kN/mを超えていたため、「建築物に作用する予想される力が50kN/mを超える区域」に該当します。

1 / 1

島根県